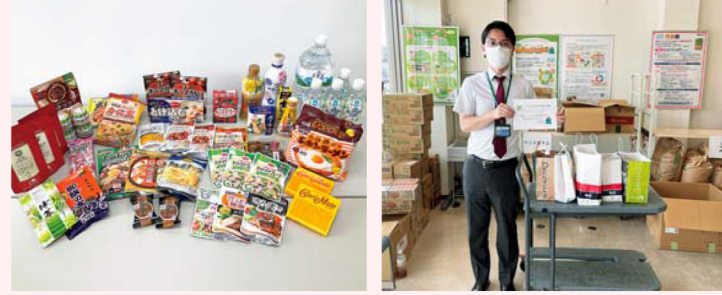


熊本県フードドライブ 2023に参加



病院全体で取り組める活動として、熊本県主催のフードドライブ2023に参加しました。初めての試みで周知期間も短い中、多数の職員の協力によって、11.2kgの食品を提供することができました。今後も定期的な実施し、子ども食堂等へ提供するとともにフードドライブ活動の定着を目指します。

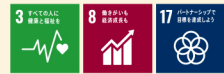


環境にやさしい



太陽光発電の設置や館内照明のLED化による省電力化、水道の蛇口に節水コマを取り付けるなどの節水、電子カルテ導入等のIT化によるペーパーレスの推進など実施しています。2021年の病院情報システム更新では、旧システムと比べ消費電力を約50%削減しました。

地域生活



当院に関わる地域を含む皆様、スタッフとともに一緒に安心安全な医療、生活を構築していくことを大切に業務にあたっています。患者様やご家族にとっては継続した治療や回復に繋がるよう個別の状況に合わせてケースマネジメントを行っています。地域や企業に対しては近隣精神科病院との懇話会、ストレスチェックのご依頼を受けるなど、メンタルヘルスの課題に取り組んでいます。

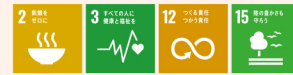
ユニバーサルスポーツ



性別・年齢・障害を問わず様々な方が一緒に参加できるユニバーサルスポーツを治療に取り入れています。誰もが楽しめる競技を通して他者と繋がりを作ることができます。令和5年10月11日に行われた熊本市・熊本市精神科病院協会共催スポーツ大会ではモルックとポッチャの体験会が行われ、当院からも数名の患者様が参加し実際に競技を行いました。参加した患者様からも「楽しかった」との声がありました。



食品ロスの削減 廃油リサイクル

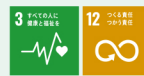


患者様に健康的な食事を召し上がっていただくために、季節に合わせた食事をはじめ、患者様個人に合わせた食事の提供を行っています。更に定期的に嗜好調査や残菜調査、提供メニュー・提供量の見直し等を行い、より良い食事の提供および食品ロスの削減に取り組んでいます。



残食は熊本市内の養豚場に飼料として提供させていただきました(2022年度約17t)。また、揚げ油などの廃油約65kg(2022年度)は専門回収業者に引き取っていただきリサイクルされています。

エコキャップ活動



平成21年5月から行っているペットボトルキャップの回収活動「エコキャップ活動」も15年目となり、累計回収個数は482,138個になりました。もし、この量のキャップを焼却処理した場合、約3.5トンのCO₂が発生することになりますが、この活動で集められたキャップはリサイクル原材料となり換金され、医療・障がい者支援等に役立てられています。



野菜づくりと グリーンカーテン



院内の空きスペースを有効活用し野菜を作っています。収穫した野菜は職員に配布したり子ども食堂へ提供したりしています。また、中庭等で育てている花木に与える栄養分も駐車場の落ち葉や厨房から出る厨芥類を使って作り出しています。リサイクル・リユースによる“緑”を管理する活動を積極的に進めています！



ふるさと元気子ども食堂の代表：宮津さん(写真右端)に野菜をお届けしました。

外来通院～入院～退院後の生活まで サポート



その人がその人らしく、安心して地域の中で生活することができるよう健康増進・症状の悪化予防に常時努めております。また、「外来～入院～退院後の生活(必要な社会資源の情報提供・利用導入)」までの援助を他職種と連携を図りながら推進しています。自宅での生活が困難な場合は、介護保険の認定等の諸手続きに加え、グループホームや施設入所に関するの情報提供等を行っています。

Challenge SDGs! SDGsへの取り組み

ニキハーティーホスピタルは令和4年9月に熊本県の認定を受け、精神科の病院として、地域に根ざす一企業としてSDGsに取り組んでいます。もちろん個人個人の意識と行動が大事なのですが組織としてより広範囲に活動し、社会に貢献したいと努力しています。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



カウンセリング メンタルヘルス研修



カウンセリングでは、仕事や家庭の悩みなど、ひとりで考えると行き詰まってしまうことも、私たちカウンセラーと一緒に振り返ったり考えたりすることで、心の糧を増やしていけるようにと心掛けています。また、外部機関でメンタルヘルス研修を行っています。リラクゼーション・散歩・睡眠・食事・CBT・SST・アンダーコントロールなど、いろんな面から自分自身をふりかえり、必要な知識とスキルを体験しながら、セルフケアができるようにサポートしています。